

## CV22 オスプレイの横田基地配備計画撤回を求める意見書

日米両政府は5月12日、米空軍横田基地（東京都）に特殊作戦用の垂直離着陸機CV22 オスプレイ10機を配備すると発表しました。そもそもCV22 オスプレイの配備計画については、2013年7月30日に横田基地周辺の5市1町が検討撤回を国に申し入れていたものです。この申し入れをかえりみず、日米政府が配備計画を発表したことに対し、周辺自治体や地域の住民から驚きと怒りの声が出され、安全性をはじめ説明を求める声が広がっています。

5月17日には、米海兵隊のMV22 オスプレイが、米ハワイ州の米軍基地で着陸失敗・炎上事故を起こし、乗員1人が死亡するという事故が起きましたが、横田基地に配備されようとしているCV22 オスプレイはMV22 オスプレイよりも事故を起こす確率が数倍高いものです。それはこのCV22 オスプレイが、危険な戦闘に投入される特殊作戦用の軍用機であり、そのための過酷な低空飛行訓練や夜間飛行訓練を必要としているからに他なりません。

このような危険な軍用機を、人口密集地の真ん中に位置する首都・東京の横田基地に配備することの異常さは明白です。しかもいま横田基地では、米海兵隊や特殊作戦部隊によるパラシュート訓練や、C130特殊作戦機による首都圏全域での低空飛行訓練等、危険な実戦的訓練が強化されてきています。もしCV22 オスプレイが配備されれば、横田基地とその周辺で、いっそう激しい低空飛行訓練等、危険な特殊作戦訓練が繰り広げられ、深刻な被害が拡大されることになるのは必至です。

よって、町田市議会は、住民の命と安全、平和を守るため、関係各省庁に対して、米空軍横田基地への特殊作戦用の垂直離着陸機CV22 オスプレイ配備計画を撤回するよう求めます。

以上、地方自治法第99条により意見書を提出します。